

当面の技術対策(畜産編)

平成23年7月1日

発行:ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 乳牛飼養管理

牧草収穫時期から急激に気温が上昇し、乳牛への暑熱ストレスが懸念されます。暑熱のストレスは秋以降になっても影響が及ぶことがありますので、ストレスを軽減し、生産性を下げない飼養管理に努めましょう。

- 1) 二次発酵して熱を帯びたサイレージや目に見えるカビ等はなるべく取り除いて給与しましょう。また、掃き寄せ回数を増やして乾物摂取量を確保しましょう。
- 2) 新鮮な水を大量に欲しがるとなり、牛の水槽アクセス回数が増えます。水槽掃除の徹底や場合によっては待機場や通路に水槽を増設し、飲水量を確保しましょう。
- 3) 呼吸量が増え炭酸ガス量が多く発生します。またふん尿からのアンモニアガスも多く発生します。換気扇や扇風機を利用して牛舎内の換気を良くしましょう。
- 4) 病原菌や伝染病に感染するリスクが大きくなります。清潔な環境づくりに努め、牧場出入り口の消石灰散布、踏み込み消毒槽の設置などを行いましょう。

2 1番草収穫後の草地管理

(1) 適期の追肥に努めましょう。追肥は次年度の牧草生育のためにも必要です。

チモシー・・・収穫5～10日後 オーチャード・・・刈取直後

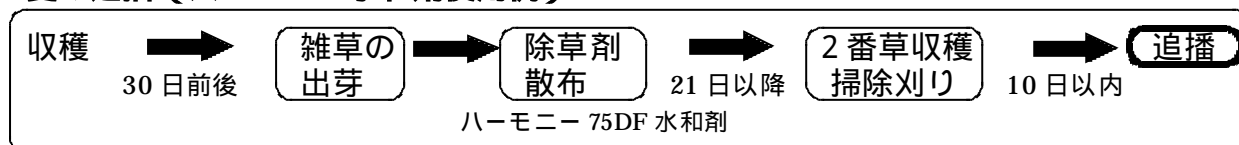
(2) ギシギシ類駆除でハーモニー水和剤を散布する場合、刈り取り後2～4週間頃のギシギシ展葉期に散布します。また、本剤はクローバ類、特に赤クローバに強い薬害を生じます。

薬剤名	使用時期	適応草種	薬剤量	水量
ハーモニー 75DF 水和剤	・夏及び秋処理 ・採草21日前まで	休科単播経年草地 休科+アルファ混播経年草地 アルファ+休科混播経年草地	3g/10a ----- 2～3g/10a	100L
	・夏及び秋処理 ・採草21日前まで ・ギシギシ草丈20cm以下 ・採草21日前まで	新播草地	0.5～1g/10a	

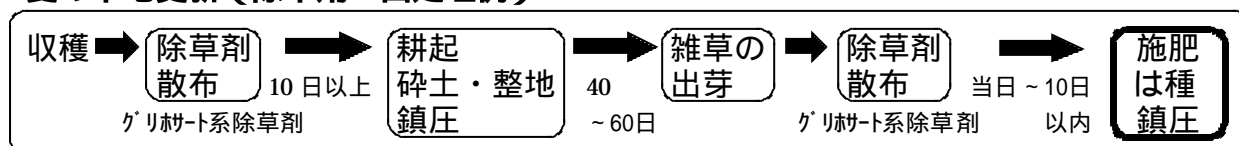
使用後のタンク等の洗浄は他の作物に対する薬害の原因にならないよう、**必ず専用の洗浄剤で洗浄してください。**

(3) 1番草収穫時に、シバムギ・ギシギシなどの雑草が多いほ場、収量の少ないほ場については、追播や更新を検討しましょう。

夏の追播(ハーモニー水和剤使用例)



夏の草地更新(除草剤2回処理例)



～ 農作業安全を心がけましょう! ～